

プロ野球開幕、巨人 vs 阪神戦を観戦

上原 昇（2組）

今年の3月は例年より気温の低い日が続いて、東京では29日になってようやく桜の開花となりました。

例年この時期なるとプロ野球のレギュラーシーズン（143試合）がスタートとなります。

3月29日（金）、セ・リーグ開幕戦、読売ジャイアンツ（巨人）vs 阪神タイガースのチケットが入手できたので、東京ドームのナイターに出かけてきました。

サッカーを始めとするスポーツに人気トップの座を脅かされているプロ野球ですが、当日の東京ドームの熱気と大歓声は大変なものでした。

球団設立90周年を迎える巨人は阿部慎之介新監督の下で、4年ぶりのリーグ制覇を目指してのスタートは昨季38年ぶりの日本一に輝いた阪神との伝統の一戦となりました。

阿部監督は戦前、「今年は“アレ”ではなく“アベ”で」と下手な台詞を言っていました。選手引退後4年のコーチを経験して、満を持しての監督就任でした。

試合は巨人戸郷、阪神青柳の投手戦で始まりましたが、巨人梶谷の右翼守備ファインプレーと2ランホームランの活躍もあり、阿部巨人が4対0で初戦を飾りました。

岡田阪神は打線が不調でまだ昨年のような勢いが感じられないので、連覇は厳しいかもしれません。

試合開始直後、球場の大型ビジョンに長嶋茂雄巨人終身名誉監督（88歳）の観戦の様子が映り、ファンの歓声に笑顔で応える一幕もありました。

子供の頃から巨人ファンの筆者ですが、最近の巨人の成績には大変不満です。

開幕戦のメンバーには外人選手の姿は無く、以下の新人3人を起用したのは阿部監督のフレッシュな采配で、今年の巨人は期待できそうです。

佐々木俊輔（外野手、東洋大-日立製作所、ドラフト3位入団）がスタメン出場して1安打1打点、西舘勇陽（投手、中央大、D1位）が無難にリリーフ登板、泉口友汰（内野手、青学大-NTT西日本、D4位）が代打で出場しました。

こうして、楽しく野球見物が出来ることに感謝しつつ、帰路につきました。

なお、開幕前に本HPで長野県出身プロ野球選手の紹介をしましたが、29日の開幕戦に出場したのは、牧秀悟（横浜）と赤羽由紘（ヤクルト）の2名でした。

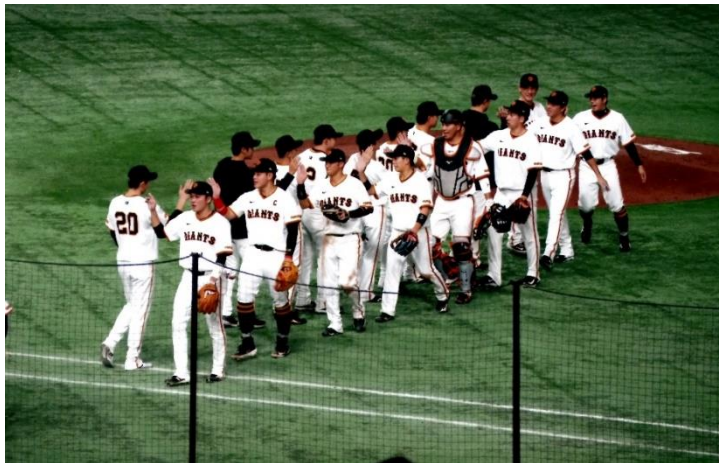
（次頁に写真3葉）



試合前のセレモニー



力投する戸郷投手



勝利してベンチに帰る巨人軍
ナイン

(2024年3月30日記)

以上